

# ふじみ野市

## 協働のまちづくり推進のあゆみ



ふじみ野市PR大使『ふじみん』

平成 26 年（2014）6 月「ふじみ野市自治基本条例」が施行されました。この条例の趣旨を踏まえ、今後のまちづくりの基本となる「協働」の基本的な考え方と実践に向けた方針として、平成 29 年（2017）10 月「ふじみ野市協働のまちづくり推進指針」を定めました。

市内で活躍する自治組織、市民活動団体、大学、企業、一般公募などの方々に構成された「ふじみ野市協働のまちづくり推進隊」では、「ふじみ野市協働のまちづくり推進指針」の作成にあたり、市民の方にもわかりやすい内容にまとめた他、毎年の協働事業実績を確認するなど、継続的に市と意見交換を行ってきました。

これまでの協働事業実績や包括連携協定実績を振り返り、協働のまちづくり推進をあゆみとしてまとめます。

令和 7 年（2025）3 月 25 日 ふじみ野市協働のまちづくり推進隊 作成

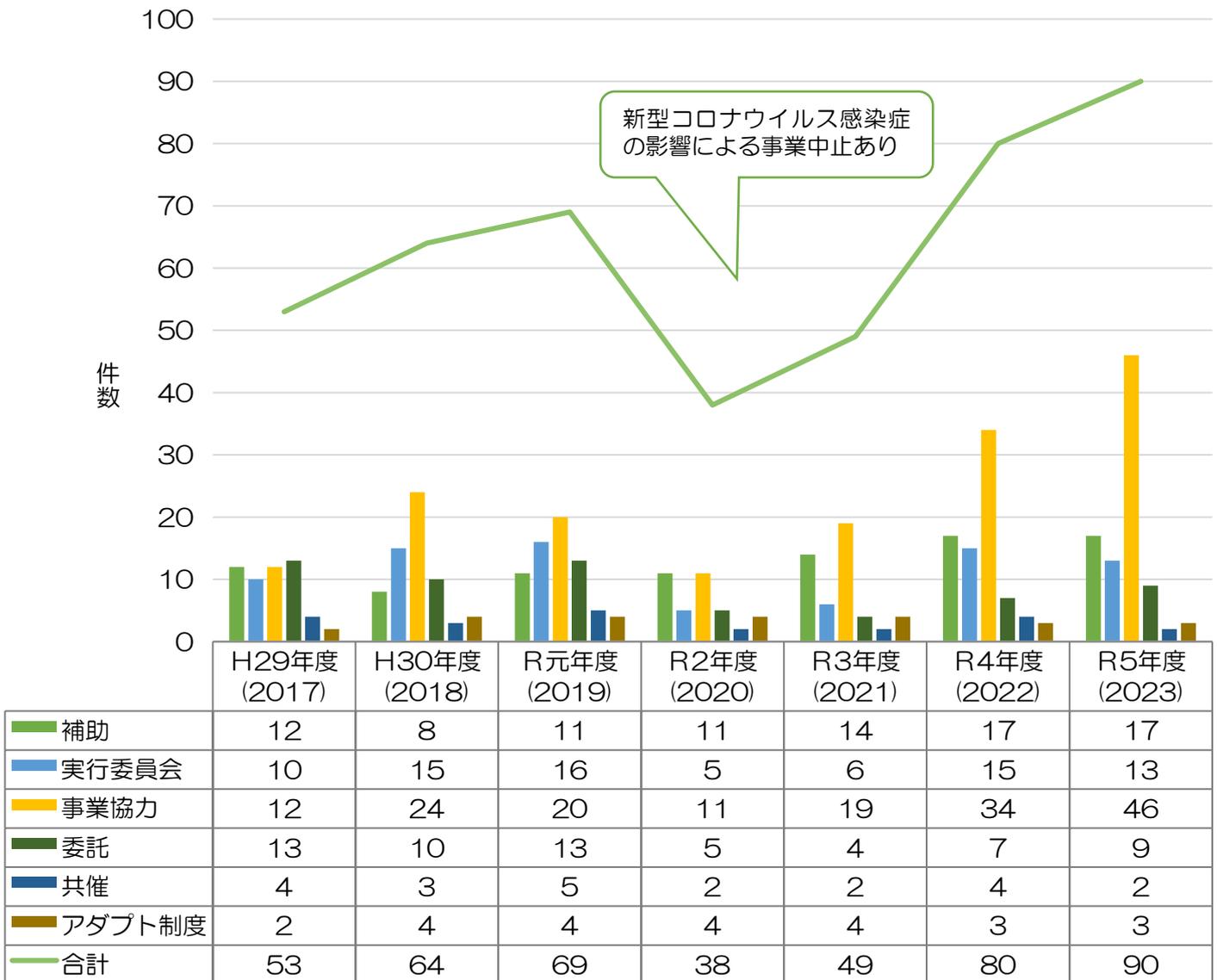
問合せ：ふじみ野市 市民活動推進部 協働推進課  
049-262-9016(直通)

## 【ふじみ野市協働のまちづくり推進隊の概要】

|         |  |
|---------|--|
| 活動目的／背景 | 平成26年（2014）に市民参加により「ふじみ野市自治基本条例」が制定され、この理念条例を実践に移すための指針を作成するため、ふじみ野市協働のまちづくり推進隊が発足しました。  |
| 構成委員    | ふじみ野市自治組織連合会、一般社団法人東入間青年会議所、ふじみ野市社会福祉協議会、ふじみ野市商工会、ふじみ野市子ども会育成団体連絡協議会、文京学院大学、特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター、いるま野農業協同組合、一般公募                  |
| 活動内容    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ふじみ野市協働のまちづくり推進指針 及び 指針の早わかり版 策定</li> <li>市民と市との協働事業に関する調査結果についての意見・確認及び調査方法への意見</li> </ul> |

## 【市民と市との協働事業 実績】

協働事業調査結果（件数）



※ アダプト制度・・・公園や道路など行政が整備した公共施設を市民がボランティアで管理している事業

## 《協働事業調査結果 一部抜粋》

| 年度              | 事業   | 連携先   | 協働における効果  |
|-----------------|--|---|---|
| 平成 30<br>(2018) | 「地域協働学校」<br>令和元年度の学校運営協議会立ち上げに向け、地域協働学校検討会議を開催し、保護者や地域住民、教育委員会、行政が一体となり研究を進め、準備を整えた。<br>※令和 2 年度に全小中学校立ち上げが完了。 | 小学校全校、大井西中学校、各校の学校運営協議会委員等<br>【事業協力】  | 独立した「学校」という存在でなく、学校を核とした地域づくりが推進され、教育の在り方や地域の関わり方が変わり、地域全体が活性化することが期待される。 |
| 平成 30<br>(2018) | 「『オールふじみ野』未来政策会議(実践編)」<br>尚美学園大学の学生が市報掲載の「ふじみんのいいところ探し」のイラストを担当し、魅力的な市内飲食店を紹介した。                               | 未来政策会議メンバー及び尚美学園大学<br>【事業協力】  | オールふじみ野として、市民や地域団体、学校、事業所、市職員が一体となり、企画検討を重ね、実践的取組がされている。                  |
| 令和元<br>(2019)   | 「権現山古墳群保存活用事業」<br>清掃・除草・樹木剪定等の保存管理や体験学習・観察会等の活用事業を実施した。  | 文化財ボランティア、葦原中学校自然科学部、権現山くらぶ<br>【事業協力】   | ボランティアや学校と協働した新規事業も立ち上がっている。  |
| 令和 2<br>(2020)  | 「空家等対策の推進に関する協定」締結<br>空家等の発生予防、適正管理及び活用促進を図る。  | ふじみ野市資源リサイクル協同組合<br>NPO法人空家・空地管理センター<br>【個別協定締結】  | 特定課題に対し、個別協定により様々な団体と協力体制を築き、課題解決に向けた取組を実施している。                           |
| 令和 3<br>(2021)  | 「マイナンバーカード出張申請受付」<br>マイナンバーカード取得率の低い 10～20 代へ申請のきっかけをつくるため、学校で申請サポート出張窓口を実施した。                                 | ホンダ学園<br>【事業協力】   | 社会課題において、有効性の高い場所で実施することにより効果を高める取組がされている。                                |
| 令和 4<br>(2023)  | 「ふじみ野市こどもの未来をはぐくむシンポジウム 2022」<br>「ふじみ野市こどもの未来を育む条例」制定を記念し、講演・シンポジウムを開催した。                                      | ふじみ野市こどもの未来をはぐくむシンポジウム 2022 実行委員会<br>【実行委員会】  | 市長、大人、小中学生、専門家がそれぞれの意見を述べることができ、講演と併せて条例を周知啓発したことで、市一体でこどもの未来を育む取組がされている。 |
| 令和 5<br>(2024)  | 「生活困窮者自立相談支援事業」<br>「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」<br>相談支援包括化推進会議の開催、研修会開催、フードパントリー、子ども食堂、リユース制服展示会、多世代交流イベント等を実施した。     | 文京学院大学、明治安田生命保険相互会社、SOMPOケアラヴィーレ、埼玉りそな銀行、近藤建設(株)、鈴兼米穀(株)、(有)日井物産、(有)藍屋、(有)船津倉庫、東武トップツアーズ、(株)藤五郎(ねぼけ堂)<br>【事業協力】 | 地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりから、地域の共助の取組が活性化している。                 |

## 【包括連携協定 実績】

市は、平成26年（2014）2月「学校法人ホンダ学園」をはじめとして、大学等6校、高等学校1校、企業12社、その他1件、合計20件と包括連携協定を締結しました。

市と締結先それぞれの資源を有効に活用した協働による活動の推進、市民サービスの向上や地域活性化に資することなどを目的としています。

令和7年（2025）3月7日現在

| 区分   | 締結先<br>(締結日順、敬称略)  |
|------|--|
| 大学等  | 学校法人ホンダ学園ホンダテクニカルカレッジ関東、学校法人文京学院、東邦音楽大学、大東文化大学、女子栄養大学、尚美学園大学   |
| 高等学校 | 埼玉県立ふじみ野高校   |
| 企業   | 日本郵便株式会社、株式会社KDDI総合研究所、市内金融機関（埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、東和銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、飯能信用金庫）、武州ガス株式会社、東京ガス株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社オリエントコーポレーション |
| その他  | 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム   |

## 【協働事業のまとめ】

- ◎令和5年度（2023）分の協働事業調査からは、連携先の評価項目を追加し、相互評価が出来る仕組みを整えました。
- ◎協働事業調査開始の平成29年度（2017）の協働事業実績数は53件でしたが、令和5年度（2023）は90件に増加しました。特に事業協力は12件から46件に増えています。
- ◎市や市民団体の他、学校や企業などが連携・協力して事業を実施しており、事業協力の輪が広がり、協働のまちづくりの推進が図られています。
- ◎連携事項として、防災・災害対策、子育て支援、高齢者支援、文化・スポーツ振興、環境保全などの分野が挙げられており、多岐に亘る協働事業が期待されます。

## 【ふじみ野市協働のまちづくり推進隊より一言】

市民と行政によるサービスを行う側・受ける側という二項構造を変えるために、いかにして協働の関係を構築できるのか。まちづくり推進隊では、長年に渡り議論を交わしてきました。そして今回、まちづくり推進のための土台を形成できたと考え、これまでの軌跡についてまとめました。同時に、まちづくり推進隊は、時代の役割を果たしたと考えるに至りました。今後も何らかの新たな課題が生じるかもしれません。その際は、また皆で手を取り協力していきましょう。

（ふじみ野市協働のまちづくり推進隊 座長）



ふじみ野市PR大使  
『ふじみん』